



1月8日(日)の13時から、松本市総合体育館メインアリーナにおいて、松本市・松本市教育委員会主催による松本市成人式が行われました。今年の新成人対象者は2,283人(男1,173人・女1,110人)で、梓川地区からは約100人が出席しました。華やかな晴れ着やスーツ姿の新成人が旧友らとの再会を喜び合う姿が会場のあちこちで見られました。今年の成人式のテーマは『未来～明日へつながる一步～』。式典では成人式実行委員会が作成した映像が流れ、『未来』について書いたボードを持った新成人たちが次々と映し出されると、会場の所々で笑い

声が上ががり、会場は和やかな雰囲気になりました。式に出席した齋藤和也さん(花見)は「新成人としての自覚を持って新たなスタートを切り、頑張りたいと思います。」、林靖之さん(上立田)は「長く会っていない友人に今の生活や状況を聞くことができました。今年短大を卒業し就職する。責任感を持って行動したい。」と抱負を語ってくれました。新成人の皆様の更なる飛躍を期待します。

梓川地区ファミリースキー教室

1月15日(日)に、梓川地区ファミリースキー教室を野麦峠スキー場(松本奈川)で開催し、18組39人が参加しました。

この教室は、梓川地区にお住まいの方で、スキー未経験者や初心者を対象に毎年開催しており、初心者・初級者のクラスに分かれて、午前・午後それぞれ1時間30分間の講習を行います。

今回初めて参加した川村萌乃さん(小1)は、「スキーは初めて



で難しかったけど、滑れるようになってよかったし、楽しかった。」と話してくれました。

講師の方々の熱心な指導のおかげで、最後には参加者のほとんどがゲレンデを1人で滑り降りてくるほどに上達しました。



梓川図書館からメリークリスマス

12月18日(日)に梓川図書館を会場に、毎年恒例の「クリスマス会」が開催され、約40人の参加者で賑わいました。初めに「りんごの会」による絵本の読み聞かせや歌があり、その後も図書館司書による大型絵本や紙芝居など、様々な催しが行われ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。



松本市を拠点に活動している「がらくた座」の『ちーばあ』

こと木島知草さんによる手話を交えた演劇やクリスマス紙芝居では、愉快なトークに子どもも大人も笑い声をあげて楽しめました。最後にはサンタクロースがサプライズ登場し、参加した子どもたちが手作りの雪だるま飾りがプレゼントされ、クリスマス会もあつという間に終わりました。

梓川図書館では蔵書も年々増え、様々な種類の本が置かれています。また、毎週火曜日には絵本の読み聞かせ会を開催していますので、梓川図書館にぜひご来館ください。

学校給食・御浜町のみかん

「三重県御浜町」は、梓川地区の友好親善提携都市です。平成元年から双方の特産であるフルーツを通じて、交流を深めてきており、平成21年から、それぞれの学校給食で「りんご」と「みかん」を提供しています。11月には、御浜町特産の「温州みかん」を行っています。



個が居き、市内の小中学校41校の給食献立に登場しました。児童たちは、「甘くておいしい」とほおばっていました。また、梓川地区からは、りんご「シナノホッペ」160個が御浜町の小中学校7校に送られました。御浜町と梓川地区では、小学校高学年の代表が夏休み

エコ水車の開発と普及

南大妻公民館 家庭教育学級

11月27日(日)に南大妻集落センターにおいて、家庭教育学級が開催されました。

今年、信州大学名誉教授の池田敏彦氏を招き、「エコ水車の開発と普及」をテーマに講義を行っていただきました。

水力発電といえばダムをイメージしますが、池田教授の研究のエコ水車はポータブルタイプで「既にある水路の流れに置くだけ」で発電することができ、大型設備も必要ないので環境に優しく低コストで導入できるなど、多くのメリットがあります。



長野県内の水路は、小さい

な流量や落差の大きい流れが多くあり、そこから大きなエネルギーが取れるような水車を開発しているようです。例えば、山奥の宿に設置した水車の電気は衛星電話の電源になったり、ある地区では猿、猪熊などの動物が農産物に被害を与えていたため、近くの川で水車を回して電気を作り、電気柵に電流を流して被害を防ぐことができたなど、様々な場面で活用できます。

梓川地区にある農業用水路でも、エコ水車が導入され、普及することを期待します。

認知症を学ぼう

上立田公民館 家庭教育学級

12月3日(土)の午前10時から約2時間、上立田公民館において、家庭教育学級「認知症を学ぼう」が開催されました。

講師に介護福祉士・認知症ケア専門士の相渡さゆり先生をお招きして、小学生からお年寄りの方まで、約30人が集まりました。

少子高齢化・人口減少の進展により、これからは地域で認知症の方を支えることが必要



要になってくるため、地域住民が認知症の知識を得ることや、介護を行ううえでの注意点などを理解することを目的に開催しました。

まず始めに、参加者がリラックスできるように腹式呼吸や、簡単にできるリンパマッサージを体験してから、講義に入りました。

認知症というのは、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭葉型認知症の四大認知症を総称した呼び方であり、その原因、特徴、症状によって介護の対応が異なることや認知症は物忘れとは違うことを知りました。

休憩時間には参加者から質問が飛び交う場面も見られ、認知症が他人事ではないことを実感していたようです。